

一般社団法人日本調理科学会 2019年度第3回理事会議事録

日時：令和2年1月25日（日）14:00～17:00

場所：お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ 3階 セミナー室

出席者：香西みどり会長、今井悦子筆頭副会長、真部真里子副会長、綾部園子副会長、中村恵子、時友裕紀子、飯島久美子、名倉秀子、平尾和子、峯木眞知子、磯部由香、西堀すき江、升井洋至、菊崎泰枝、岸田恵津、福田ひとみ、五島淑子、次田一代、久木野睦子、青柳恵子、宮藤章、三宅裕子、吉濱義雄（以上理事23名） 石井克枝、松本美鈴（以上監事2名）

欠席者：魚住恵、山下浩子（以上理事2名）

本日の理事会は、定款第33条 理事の過半数の出席（理事25名中23名出席）を満たし成立。

【配付資料】

- 資料1：一般社団法人日本調理科学会 2019年度第2回理事会議事録（案）
- 資料2：一般社団法人日本調理科学会 2019年度第3回理事会報告（編集委員会）
- 資料3：一般社団法人日本調理科学会 2019年度第3回理事会報告（情報管理委員会）
- 資料4：次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会報告
- 資料5：災害時メニュー開発に関する研究委員会報告
- 資料6：メトロミニッツ10.20 2019NOV No.204 記事 「調理科学と家庭料理」
- 資料7：支部からの代議員及び理事候補者の選出結果
- 資料8：第3回若手研究者発表奨励賞決定の報告
- 資料9：2019年度大会決算及び余剰金の報告
- 資料10：2020年度事業計画（案）
- 資料11：2020年度収支予算（案）
- 資料12：2020年度代議員総会等について
- 資料13：2020年度大会、学会誌第2号掲載記事案
- 回収資料1：2020,2021年度役員候補者被選挙人名簿
- 回収資料2：新入会員名簿

1. 会長挨拶

香西会長より、今回は開催場所として新たに建設されたお茶の水女子大学国際交流留学生プラザ3階のセミナー室としたとの挨拶があった。

2. 議長、議事録作成人、署名人選出

前例により、議長は香西会長、議事録作成人は飯島庶務担当理事、議事録署名人は香西会長、今井筆頭副会長、石井監事、松本監事とする。

3. 前回議事録確認

議事録（案）（資料1）は複数個所の訂正が必要となったため、改訂版を事務局より送付し改めて確認し、承認を得ることとした。

4. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告

香西会長より、前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があり、今井筆頭副会長は庶務担当として、真部副会長は情報及び家庭料理委員会担当として、綾部副会長は学会誌編集担当として会長を補佐し職務を執行してきたとの報告があった。

(2) 常置委員会からの報告

1) 編集委員会

綾部副会長より、資料2に基づき、投稿数が増加し依頼原稿も順調であること等の論文審査状況の報告と投稿規程細則及び氏名のローマ字表記等学会誌の体裁の変更の説明があった。

2) 情報管理委員会

真部副会長より、資料3に基づき、ホームページ管理とメールニュース発行の報告の他、不審メールの状況とその対応についての報告及び注意喚起があった。

(3) 特別委員会報告

1) 刊行委員会

香西会長より、刊行委員会は委員長大越先生の下、香西会長、今井筆頭副会長、綾部副会長、真部副会長、森高先生の6名で刊行事業を進めており、これまでにクッカーサイエンスシリーズとして9冊が刊行され、1冊が執筆中との報告があった。

2) 規程委員会

今井筆頭副会長より、引き続き規程の文言の統一を行っていく予定であるとの報告があった。

(4) 研究委員会からの報告

1) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

真部委員長より、資料4に基づき、国が2019年度に開始した農林水産省によるプロジェクト「地域の食文化の保護・継承事業」に日本調理科学会として協力していきたい旨、説明があった。今後は日本調理科学会から提供した画像はwebサイトに掲載される際、「日本調理科学会より提供」と表記されるため、著作権についてはさらに細心の注意を払う必要があるとの説明があった。

2) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

石井委員長より、資料5に基づき以下の報告があった。2019年度大会におけるNPOキャンパーのデモ調理は大会実行委員会の協力を得て8月26日(月)昼食時に100食の提供を行った。報告会では配食の食器の問題解決方法として袋の活用に取り組むこと、拡大委員には20名弱の応募があったことが報告された。2020年度大会に向けては北海道・東北支部とともに準備中である。

(5) 創立50周年記念出版委員会

香西会長より、「全集 伝え継ぐ 日本の家庭料理」の書籍化が開始されたことが報告され、それらの書籍が回覧された。また、資料6や新聞、雑誌などの出版物やテレビを通して「伝え継ぐ 日本の家庭料理」の広報にあたっていることが紹介された。

(6) 選挙管理委員会

1) 支部からの代議員及び理事候補者の選出結果

香西会長より、資料7に基づき、選挙管理委員長は大越先生が務め、2020-2021年度代議員名簿と理事候補者名簿の報告があった。

2) 2020、2021年度役員候補者被選挙人名簿

香西会長より、回収資料1に基づき、役員候補者被選挙人の有資格者23名中9名が辞退したとの報告があった。

(7) 若手研究者発表奨励賞の件

第3回若手研究者発表奨励賞決定は今井選考委員長、綾部編集委員長、岸田理事、名倉理事の4名の選考委員で開票結果を基に、上位3名に決定した。今井選考委員長より、今回の問題点として2点あげられた。1点目は、発表者が14名連名であり、個人に与える賞としてふさわしいかとの疑問があること、もう1点は学会誌に掲載済みの研究発表があったことがあげられた。

14名連名の研究については状況理解する理事より説明があり、また審査に携わった理事らが発言され討議されたが、人数制限は難しいため、口頭発表を担当した座長に推薦の可否を確認することを検討することとなった。発表時に学会誌に掲載済みの研究については辞退してもらうなど意見交換をした結果、演題登録は未発表に限る旨を2020年度大会以降は明記することを含め、2020年度大会開催支部長の中村理事が文言と掲載箇所について検討をすることになった。

【審議事項】

(1) 新入会員承認

香西会長より、回覧資料2に基づき、令和元年9月~令和2年1月の新入会員(正会員9名、学生会員5名、団体会員1団体)の説明があり、所属等の確認を行い、これを満場一致で承認した。

(2) 2019 年度大会決算及び余剰金

久木野九州支部長より、2019 年度大会決算について資料 9 に基づき報告があった。収入は展示、広告及び当日参加者が多かったため、支出は海外から講演者を招聘したため、それぞれ予算より決算が多くなった。また、余剰金については本部からの準備金 100 万円を返金後、残金は規定の計算式に従い、本部は 8 割の 907,499 円、九州支部は 2 割の 226,675 円に分ける案が提案され、これを満場一致で承認した。

(3) 2020 年度事業計画(案)・予算(案)

今井筆頭副会長より、2020 年度事業計画(案)が提案され、年間スケジュールについて説明があり、これを満場一致で承認した。続いて 2020 年度収支決算(案)が提案され、2019 年度の予算額との各科目における増減額について説明があった。増減額の大きい科目は、経常収益の受け取り著者負担金(投稿者の増加に伴い増額)と、編集費(J-STAGE 投稿審査システムに採択されたため費用が掛からなくなり減額)である。予算案について審議し、これを満場一致で承認した。

(4) 2020 年度代議員総会等

香西会長より資料 12 に基づき、以下の説明があった。

1) 代議員総会の開催

2020 年 6 月 7 日(日)にお茶の水女子大学本館 306 室において代議員総会を開催すること、議事内容は 2019 年度事業報告、2020 年度事業計画及び収支予算書の報告、2020 年度学会賞の報告、2019 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認であることが提案された。本提案について審議し、これを満場一致で承認した。

2) 代議員総会開催通知

開催の招集を電磁的方法(メール等)で行い、出席できない代議員は議決権行使または委任に関する所定の書類に署名、捺印後 PDF 化して事務局にメール添付により議決権行使する案が提案された。本提案について審議し、これを満場一致で承認した。

3) 電磁的理事会の開催

2020 年 4 月に「2019 年度事業報告」「2019 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書」の監査が実施され、事業報告はその後「理事会の承認を経て、代議員総会へ報告」、会計書類は「理事会の承認を経て、代議員総会で承認を受ける」こととなる。そのため、2020 年 4 月に行う監査が終了してから 5 月上旬に電磁的方法による臨時理事会開催する旨の提案があり、これを満場一致で承認した。

4) 講演会

代議員総会と同日開催の講演会の講師の 1 名は前年度学会賞受賞者に依頼することが慣例であるが、前年度受賞者である會田久仁子氏のご都合がつかないため、講演 1 は東京海洋大学の鈴木徹氏に演題「ホームフリージング(仮題)」、講演 2 は早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所の古谷彰子氏に演題「時間栄養学と調理科学との融合(仮題)」で依頼することが提案され、これを満場一致で承認した。

(5) 2020 年度大会

中村東北・北海道支部長より、2020 年度大会を 8 月 27、28 日に『ビックパレット福島(郡山)』で開催する予定であったが、前日にイベントが入っており準備に使用できないため、郡山女子大学に変更するとの報告があった。資料 13 に基づき、「2020 年度大会のご案内と研究発表募集案」について提案され、審議後これを満場一致で承認した。提案内容は、口頭発表は OHC で行うこと、講演会のテーマは「福島の食 これまで そして これから 一東日本大震災から約 10 年を経て」とし、講師は①福島県企画調整部復興・総合計画課、②「放射線と健康」福島県立医科大学教授長谷川有史氏、③分とく山総料理長野崎洋光氏に依頼すること、研究発表申込期間は昨年より 1 週間短くなること、発表者の所属の表記について非常勤講師や退職後はそれぞれ「非・大学名」「元大学名」としローマ字表記は従来通りとすること、会期が日本食品科学工学会と重なったことで参加者減が予想されることから参加費を一律 1000 円値上げしたこと、及び大会費用の振込口座はこれまでとは異なり今後は事務局で開設しそれを大会の主催支部が順次使用する方法に変更することである。

(6) 2021 年度大会

時友関東支部長より、実践女子大学で行う 2021 年度大会は当初の予定のままでは日本食品科学工学会大会と同時期となってしまいうため、2021 年 8 月 29 日(日)、30 日(月)に変更する旨の提案があり、これを満場一致で承認した。

(7) 2020 年度学会賞選考委員会

香西会長より、2020 年度学会賞選考委員会設置の提案があり、満場一致で承認した。選考委員長は今井筆頭副会長、委員は庶務担当の飯島理事、西堀理事、魚住理事、菊崎理事で構成されることとなった。

(8) その他

香西会長より、令和元年 8 月 25 日の理事会にて、役員候補者被選挙人の有資格者に予め役員候補者被選挙人名簿への記載の諾否を確認すると決定した申合せにより、今回の選挙において諾否の確認を行った結果、2020・2021 年度役員候補者被選挙人の有資格者 23 名中 9 名が辞退したとの報告があった。この結果から今後の学会運営への影響が危惧されるため、役員候補者被選挙人の有資格者に予め名簿掲載の諾否を確認することの妥当性について審議された。この方法のメリット、デメリットが複数の理事より述べられ、その上ですべての出席者が意見を述べた。その結果、役員候補者被選挙人の有資格者に予め名簿掲載の諾否を確認しないことを満場一致で承認し、この申合せは削除することとした。

【その他】

(1) 第 1 回および第 2 回理事会の開催

香西会長より、2020 年 6 月 7 日(日)に行われる 2020 年度第 1 回理事会は 2019 年度第 4 回理事会に相当するが、4 月から翌年 3 月までの学会年度に合わせるため、このような表記になることが説明された。

(2) 支部報告書案(2019 年度事業報告・決算、2020 年度事業計画・予算)の提出

今井筆頭副会長より、各支部長に支部報告書案(2019 年度事業報告・決算、2020 年度事業計画・予算)の提出締切りは 2020 年 3 月 31 日であることが説明された。

(3) 学会賞候補、奨励賞候補、功労賞候補の推薦

今井筆頭副会長より、学会賞候補、奨励賞候補の推薦依頼があった。また、功労賞については各支部長に候補者の推薦依頼があった。

(4) その他

磯部東海・北陸支部長より、支部の行事を全国版のメールニュースに掲載したいとの要望があり、「〇〇支部会員への連絡：詳細は支部の HP 参照」等簡潔な案内を掲載することになった。

また、升井近畿支部長から出た「支部でメーリングリストを作ってよいか」という質問に対し、松本監事より、会員の承認の上で可能となる旨の発言があった。石井監事(前情報管理委員長)より、本来は全国版のメーリングリストも同様だが、本学会は未確認のまま行っていると現状説明があった。今後、新入会員の申込書に、全国版と支部のメーリングリストにアドレス掲載諾否を聞くような文章を入れるよう検討することとなった。

香西会長より、次回理事会は令和 2 年 6 月 7 日(日) 10 時 30 分～11 時 30 分に、お茶の水女子大学本館 209 室で開催予定であることが報告された。

議事録署名人	会長	香西 みどり	印
	筆頭副会長	今井 悦子	印
	監事	石井 克枝	印
	監事	松本 美鈴	印

